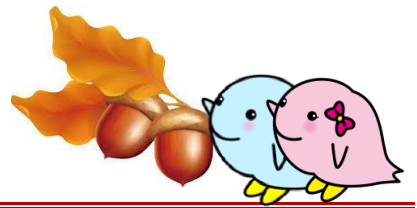




ふたば診療所通信



医療法人社団 支心 事務局 <http://www.shishinn.com>
〒085-0008 釧路市入江町9番14号
tel0154(23)3001 fax0154(64)6611

facebook随時更新しております
2016年10月15日 (第14号)

ふよさん(くしろ昔ばなしその2のつづき)

<前号からのつづき>

診療を始めてから数年後、初めてお嫁さんから往診の依頼があった。ひとりで階段を上り下りできなくなったとのことだった。息子さんか病院におぶって連れていくと何度言っても、頑として聞き入れない。なぜ病院に来なかったの？
「だって、背負われてなんて格好悪いじゃない！」(またやられた)



支心まつりでの谷藤先生
もちろん、この後日本酒で
乾杯しました！！

それから月に数回定期的に往診に行くようになった。ほとんど いつも二人でバカ話をして楽しく過ごした。
「あの仏壇はね、あの世とつながっていて、時々いろんな人が
こっちに来るんだよ。」
「昨夜は子供たちが大勢きてかけっこしていった。元気でかわいかったよ。」
ふよさんが見る夢は昼も夜も楽しい夢ばかりだった。

「ふよさんの店の豚丼 美味しいんだってね。」「そうだよ。釧路一だよ。」
そう言いつつもお店の自慢が始まった。
あるとき日曜の朝にふよさんが呼んでいると電話があった。
「昨日からなんだか変な男が出入りして、私の身体を触るんだ。助けてくれ！！」…(^_^;)
診察(雑談?)は1時間を超えたころから いつもの楽しい話に変わった。
そこへ お嫁さんが豚丼をふたつ運んできてくれた。
「おばあちゃん 最近食欲がなくて…でも先生と一緒に食べると言うんです。」
モチロン！！一緒に美味しくいただきました。ふよさんの言うとおりの、その豚丼は釧路一の味がしました。

その数ヶ月後、動くことも、食べることもできなくなったふよさんを息子さんが背負って病院に連れてきた。いつもの風呂敷は今日はお嫁さんが抱えています。
入院してもらって検査をしても、特に大きな病気は無い。
「ふよさんは寿命を迎えようとしています。病気ではないので治療法はありません。」
そう伝えると息子さんは「わかった。明日連れて帰る。」
ふよさんは、また息子さんに背負われて 自宅に帰っていきました。



退院したふよさんを訪ねるとお店の裏に案内されました。
そこには小さな平屋の家がありました。「昔じいさんとばあさんが暮らしてた家なんだ。古くて、小さいけれど床はピカピカに磨かれ、畳はいい匂いがします。
ふかふかの布団に真っ白なシーツを敷いてふよさんは休んでいました。
毎日、看護師が通い、ご家族と一緒に世話をさせていただきました。いつも誰かが傍に寄り添っていて大人に混じって子供たちがいました。顔を覗き、いたずらする小さな子。宿題をする小学生。大人びた顔でありがとうございましたと見送ってくれる中学生。ふよさんが一人でいることはありませんでした。」

ある日、息子さんからの電話が鳴り「ばあさん死んだみたいだ。」そう呼ばれて駆けつけると清潔な白いシーツの上で、ふよさんは あの笑顔で休んでいました。
隣にはおもちゃで遊ぶ赤ちゃんとそれを世話するお姉ちゃん。
おばあちゃんはたった今、亡くなったばかりですが
たくさんのお客さんがみんなふよさんを囲んで微笑んでいました。

ふよさんのお店のメニューに豚丼が無いと聞いたのはしばらく経ってからでした。(最後にまたやられた)

日帰りふわりデイサービスセンター 新所長のご紹介



日帰りふわりデイサービスセンターに新所長が就任いたしました。
素晴らしいキャリアをお持ちの方で認定心理士資格や
看護師長の経験もお持ちです。
医療必要度の高い当デイサービスでの活躍をご期待下さい！！

所長 小山いずみよりご挨拶

この度、10月1日より日帰りふわりデイサービスセンター所長に就任することになりました
小山いずみと申します。こちらには平成27年1月より非常勤看護師としてふわりデイサービス
で看護業務やリハビリ、レクリエーション等で皆さまと共に喜び、共に泣き、共に笑い、共に時
間を過ごさせて頂いておりました。これからは介護に加えて健康の側面からも皆さまのお役に立
つことができるよう努力してまいりますので、何卒よろしくお願い致します。

第8回支心まつり開催御礼



平成28年9月24日(土)第8回 支心まつりが開催されました。今年もまた、前日の雨に祟られ中庭に砂利を敷く
作業から始まりました。昨年のお祭り以降に入社した職員による、御神輿ワッショイから景気よく始まり
焼き鳥、海鮮焼き、おしるこ、ラーメン、チャーハン、谷藤先生お手製のポトフなど盛りだくさんの露天の食事を満喫！
希望者にはお酒も振る舞われましたよ。食事の後は全員参加の運動会を行い、ゲストの皆さまにもご参加頂き
大変盛り上がりました。今年もこうやって皆でお祝いを出来たこと。本当に幸せだあ～と感じました。

40th 日本死の臨床研究会年次大会
深めよう、広めよう、
ホスピスのこころ

北の大地
からの
メッセージ

「日本死の臨床研究会」は
我が国で最も古くから終末期医療に取り組んできた団体で、
このたび第40回の記念大会を札幌で開催することになりました。

●とき
2016年10月8日(土)9日(日)

●ところ
札幌コンベンションセンター
北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1

10月8日(土)9日(日)札幌コンベンションセンターにて
「日本死の臨床研究会年次大会」
深めよう、広めよう、ホスピスのこころが行われました。
当院の佐々木美香看護師がポスター発表を行い
谷藤先生、太田看護師、丸山所長も学会に参加し
たくさんの講演やワークショップ、セミナーで大いに学ん
で来ました。やはり、どんなにベテランになっても学ぶこ
とは尽きないですね。これからも皆で良い研修会にド
ンドン参加していきたいと思ひます。

<編集後記>

あっという間に今年も残すところ2か月半となりましたね。肌寒くなってきましたが、風邪などひいていませんか？
もう、ストーブを使い始めていることと思いますが、乾燥には気をつけて下さいね～。私も自宅のストーブは頻繁につけては
ないつもりでも、蒸発皿の水は意外とすぐに無くなってしまいます。真冬程では無いけれど、確実に空気は乾燥している
んですね。秋といえば、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋と色々秋の夜長を楽しむ術がありますが、皆さまは如何
お過ごしですか？私を始め、ふわりの職員はもっぱら食欲の秋ですね！！収穫の秋も楽しみましょう！！

東